集落開発センター・運動広場の建設等補助事業を柱に

9億4,410万円の中味は……　～56年度一般会計予算～

歳入

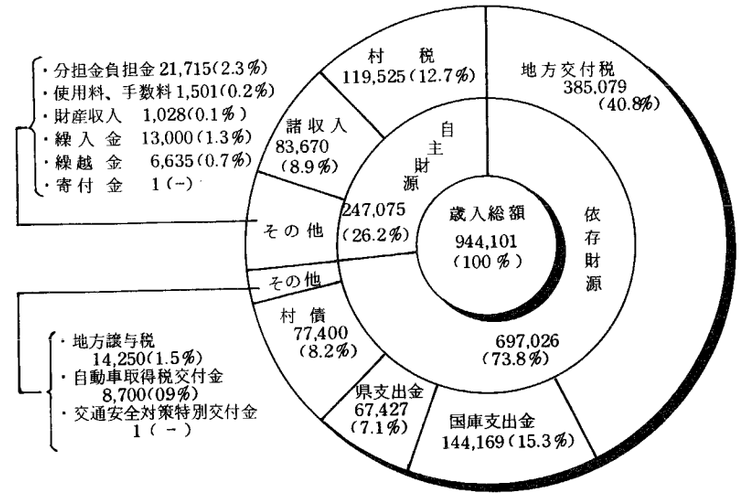
村税では前年比一千二百九十八万九千円（12%）増の一億一千九百五十二万五千円を見込みました。交付税は前年比10%増の三億八千五百七万九千円を見ました。これは歳入全体の40・8%と前年度より1%多くなり自主財源の乏しい村の実態がうかがわれます。村債では七千七百四十万円で主たるものは、農村総合整備モデル事業で二千二百六十万円、運動広場建設事業で三千十万円を予定しています。

歳出

歳出では農村総合整備モデル事業、道路整備事業、集落開発センター建設費等建設事業費で二億四千二百九十万七千円で全体の25・7%となっています。又消費的経費では人件費二億四千二百五十一万円、物件費一億三千百五十五万六千円、補助費等一億一千八百九十五万三千円、扶助費三千六百万三千円で歳出全体の56%です。そのほか公債費、貸付金、繰出金、その他で一億七千二百十七万二千円で18・3%となっています。

歳出の主な概要は次のとおりです。

歳入予算の財源別構成（単位　千円）



議会費
総額　三四、四八九千円

総務費
総額　一〇九、三〇三千円
村長交際費　七〇〇千円
広報発行費　一、一七七千円
車庫工事費　三、九六七千円
農業委員選挙費　五五〇千円

民生費
総額　一二九、八二三千円
老人生きがい対策事業　六二五千円
老人医療費　二三、二三三千円
老人クラブ補助　六二三千円
老人世帯等牛乳代　五七九千円
保育園増築費　一二、四一〇千円
保育園浄化槽工事等　六、〇〇〇千円
児童手当　六、五八八千円
障害者医療費　五八二千円

衛生費
総額　四四、五〇三千円
献血対策費　三三七千円
健康づくり推進事業　三、九四五千円
白根衛生センター組合負担金　二〇、八三四千円
環境衛生事業費　一、二四六千円
循環器特別対策事業費　一、六九二千円
乳児、妊産婦医療費　五三〇千円
母子栄養強化助成　七四九千円

農林水産業費
総額　二二三、〇三〇千円
集落センター建設費　三七、〇〇〇千円
地力培養団地整備費補助金　三三六千円
有害鳥獣駆除費　四四〇千円
非農地排水事業　三、〇〇〇千円
地盤沈下対策事業　五、〇〇〇千円
水田再編奨励補助金　四、〇四〇千円
水田再編苗木、種子導入補助　五〇〇千円
農地流動化奨励金　一、五〇〇千円
農村総合モデル　九九、四七〇千円

商工費
総額　八五、七八三千円
商工会補助　二、三〇〇千円
鎌生産構造改善事業　四五〇千円
地方産業育成資金　三六、〇〇〇千円
中小企業近代化資金　二五、〇〇〇千円
商工事業協同組合　七〇〇千円
店舗改善利子補給　七〇〇千円
中小企業近代化資金利子補給　八〇〇千円

土木費
総額　四一、六四四千円
除雪機械借上料　二、〇〇〇千円

土木工事費　一五、四〇〇千円
舗装修繕費　一、〇〇〇千円
敷砂利　一、〇〇〇千円
宅地排水伏越浚渫費　三〇〇〇千円
道路排水側溝修繕費　五〇〇千円
国土調査委託費　四、五一九千円

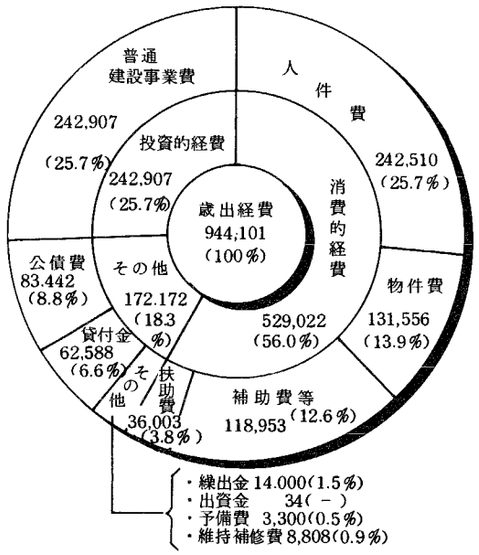
消防費
総額　三五、七五六千円
消防団員報酬　一、八一三千円
消防団出動費　九〇〇千円
分団、部運営費　四三二千円
郡ポンプ操法大会　二五〇千円
県消防団員等公債組合負担金　一、七二三千円
防火水槽二基　三、四〇〇千円
消火栓四基　一、〇〇〇千円
ホース干場工事　四〇〇千円
白根地区消防事務組合負担金　二二、四六九千円

教育費
総額　一五二、八九三千円
準要保護扶助費　一、四〇四千円
奨学貸付金　八八八千円
小学校サッシ工事　四、三〇〇千円
(小)教室照明増工事　六七〇千円
(中)休憩室改装工事　五七二千円
国民運動場建設事業　五二、〇九九千円
プール運営費　一、九五五千円
給食材料費　一七、八四七千円

公債費
総額　八三、五七七千円
償還元金　四二、六五二千円
償還金利子　四〇、七九〇千円

予備費
総額　三、三〇〇千円

歳出予算の性質別構成（単位　千円）



特別会計

＝昭和56年度 国民健康保険特別会計予算＝
総額1億8,338万9千円

去る三月定例村議会において、昭和56年度国保特別会計予算が提案され、原案どおり可決されました。

国保会計は被保険者が、お医者さんにかかる医療費を推定計算し、予算を立てるもので、本年度の医療費は一億七千二百八十九万円で前年対比約一二・六パーセントの増です。

皆さん方から納めて頂く保険税は六千八百十三万二千円で前年対比約二パーセントの増となります。

村民一人ひとりが『健康でなが生き』をスローガンに、国民健康保険事業に協力下さいますようお願いいたします。

＝昭和56年度 簡易水道特別会計予算＝
総額1億6,425万8千円

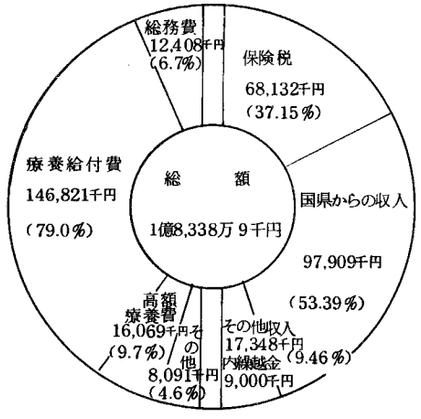
本年度、簡易水道特別会計予算総額一億六千四百二十五万八千円で対前年比、五百八十九・二%と約六倍の増加です。

これは今年度の重点事業である浄水場施設拡張工事によるものです。

歳入で本工事の財源としての村債額一億一千二百四十万円を見込んでいます。又使用料では料金改正分と月潟プルボン株式会社の大口加入による使用料金を含め二千八百十八万五千円を見込み、対前年比で九百四十九万六千円の増加です。

歳出では運営費や人件費などの総務費で一千七百六十八万円を計上し、施設管理費で一億三千九百七十五万四千円と大巾な増加ですが浄水場拡張工事の設計管理委託費で三百六十万円と工事費で一億二千百八十九万円を計上しています。

又公債費で六百三十二万四千円を計上し対前年比で四百五十二万六千円の増加となっています。これは施設拡張工事の借入金利息が主な原因です。

本会計の予算規模としましては、大型でありますが、将来ともに安定した給水と住民サービスの向上を図ることを主眼としています。

主な予算内容